

2022年6月吉日

報道関係者各位



Presents

旭酒造株式会社
日本センチュリー交響楽団

日本センチュリー交響楽団 岩国特別演奏会 ～世界へ届け 平和と希望の響き～

昨年開催予定をしていた本公演が、新型コロナウイルス感染拡大の為、やむを得ず延期となって約1年。

今年新たなテーマを掲げ、再び公演を開催する運びとなりました。

未だ終息が見えない新型コロナウイルス感染症、ウクライナ情勢…世界中で不安な想いを抱えた状況が続く中、世界的日本酒ブランド「瀬祭」と首席指揮者の飯森範親率いる日本センチュリー交響楽団が、山口県・岩国から“世界へ届け 平和と希望の響き”をお届けいたします。

ソリストには北九州市出身のヴァイオリニストで、ブラームス国際コンクールの覇者 中村太地が登場。旭酒造 160名の瀬祭の蔵人を束ねる蔵長と同級生であったご縁から、出演が決まりました。

世界中の作曲家たちのオーケストラの魅力が詰まった名曲を、願いと祈りを込めてお贈りいたします。

[公演名] 瀬祭 Presents 日本センチュリー交響楽団 岩国特別演奏会
～世界へ届け 平和と希望の響き～

[日時] 2022年8月13日(土)15時開演 (14時開場)

[会場] シンフォニア岩国 コンサートホール (山口県岩国市三笠町 1-1-1)

[指揮] 飯森範親 [ヴァイオリン] 中村太地 (*)

[管弦楽] 日本センチュリー交響楽団

[曲目] ヴェルディ:歌劇「運命の力」序曲

ヴォーン・ウィリアムズ:「グリーン・スリーブス」による幻想曲

バーバー:弦楽のためのアダージョ

リムスキー=コルサコフ:スペイン奇想曲

ブラームス:ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 (*)

2022年6月10日(金) 一般チケット発売

S席(特典付き):5,000円 A席:4,000円 B席:3,000円 (全席指定・税込)

*S席特典<瀬祭 純米大吟醸 磨き 三割九分 300ml>プレゼント

チケット販売: シンフォニア岩国 TEL:0827-29-1600 (10:00~19:00)



指揮：飯森範親 Norichika Iimori（日本センチュリー交響楽団首席指揮者）

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリンとミュンヘンで研鑽を積み、94年から東京交響楽団の専属指揮者、モスクワ放送交響楽団特別客演指揮者、広島交響楽団正指揮者などを歴任。96年東京交響楽団のヨーロッパツアーでは「今後、イイモリの名が世界で注目されるであろう」と絶賛された。その後、同楽団とは密接な関係を続け、正指揮者、特別客演指揮者を務めた。03年、NHK交響楽団定期演奏会にマーラーの交響曲第1番でデビューを飾る。06年度 芸術選奨文部科学大臣新人賞、06年度中島健蔵音楽賞を受賞。海外ではフランクフルト放響、ケルン放響、チェコ・フィル、プラハ響などに客演を重ねる。

01年よりドイツ・ヴュルテンベルク・フィルの音楽総監督(GMD)に就任し、ベートーヴェンの交響曲全集を録音。06年の日本ツアーを成功に導き、2017年5月にはミュンヘンのヘルクスザールを始めドイツ国内のツアーにて指揮。同年9月にはポーランドのオルシティン・フィルのシーズン開幕を指揮し成功を収めている。いずみシンフォニーエッタ大阪常任指揮者、ヴュルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者。07年から山形交響楽団の音楽監督に就任、次々と新機軸を打ち出してオーケストラの活動発展と水準の向上に目覚ましい成果を挙げたことで2011年齋藤茂吉文化賞を受賞。

現在、パンフィック フィルハーモニア東京音楽監督、日本センチュリー交響楽団首席指揮者、山形交響楽団桂冠指揮者、東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。2023年4月より群馬交響楽団常任指揮者に就任予定。2020年10月、新国立劇場のシーズンオープニング公演であるブリテンのオペラ「夏の夜の夢」を指揮、好評を博し大成功を収めた。オフィシャル・ホームページ <http://iimori-norichika.com/>



ヴァイオリン：中村太地 Daichi Nakamura

3歳でヴァイオリンを始める。福岡県立小倉高等学校卒業後ウィーンへ渡り、ウィーン国立音楽大学でM.フリツシェンシュラーガーに師事。さらにベルギーのエリザベート王妃音楽大学でA.デュメイに師事する。2004年若い音楽家のためのチャイコフスキー国際音楽コンクール、12年ハチャトゥリアン国際音楽コンクール、14年クライスラー国際コンクール、16年ロドルフォ・リビツァー国際コンクールなど、権威ある国際コンクールで多数入賞及び特別賞受賞。2017年、第24回ブラームス国際コンクールで日本人初の優勝を果たす。20歳の時にソフィアフィルハーモニー管弦楽団との共演でヨーロッパ・デビュー。以来、ヨーロッパと日本を中心に演奏活動を行い、これまでに九州交響楽団、セントラル愛知交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、サンクトペテルブルク交響楽団、クラークンフルトフィルハーモニー管弦楽団、ソフィアフィルハーモニー管弦楽団、ルヴィウフィルハーモニー管弦楽団などのオーケストラと共演。また、サントリーホール、

ザ・シンフォニーホール、響ホールをはじめとするホールでリサイタルを行っている。

2019年ビクターエンタテインメントよりデビューアルバム「ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ集」(ピアノ：江口玲)をリリース。

使用楽器は1738年製ガルネリ・デル・ジェス“ソフィー・ハウス”(北山コーポレーション・北山英樹氏より貸与)。

2021年より北九州市文化大使に就任。2022年、(公財)青山音楽財団より辻本玲氏(チェロ)と佐藤卓史氏(ピアノ)で結成しているトリオでの活動が評価されてバロックザール賞を受賞。



管弦楽：日本センチュリー交響楽団 街に響く。心に届く。

Japan Century Symphony Orchestra

日本センチュリー交響楽団は1989年に活動を開始し、2019年に楽団創立30周年を迎えた。現在、飯森範親が首席指揮者、秋山和慶がミュージックアドバイザーを務め、2021年4月より久石譲が首席客演指揮者に就任。ザ・シンフォニーホールで開催するシンフォニー定期演奏会、ハイドンの交響曲全曲演奏・録音プロジェクト「ハイドンマラソン」に加えて、豊中市立文化芸術センターでの名曲シリーズと2拠点で定期的な演奏会を開催。オーケストラ体感コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」、特別支援学校コンサート、ユースオーケストラの運営といった教育プログラム、「豊中まちなかクラシック」

(豊中市)、「ルシオール街かどコンサート」(滋賀県守山市)等の地域連携事業にも力を入れている。

オフィシャル・ホームページ <https://www.century-orchestra.jp/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

公益財団法人 日本センチュリー交響楽団

担当者：小田弦也、前田聡子

TEL：06-6848-3333

Email：odag@century-orchestra.jp

maedas@century-orchestra.jp

旭酒造株式会社

担当者：広報 千原英梨

TEL：090-2291-0081

Email：e.chihara@asahishuzo.ne.jp